

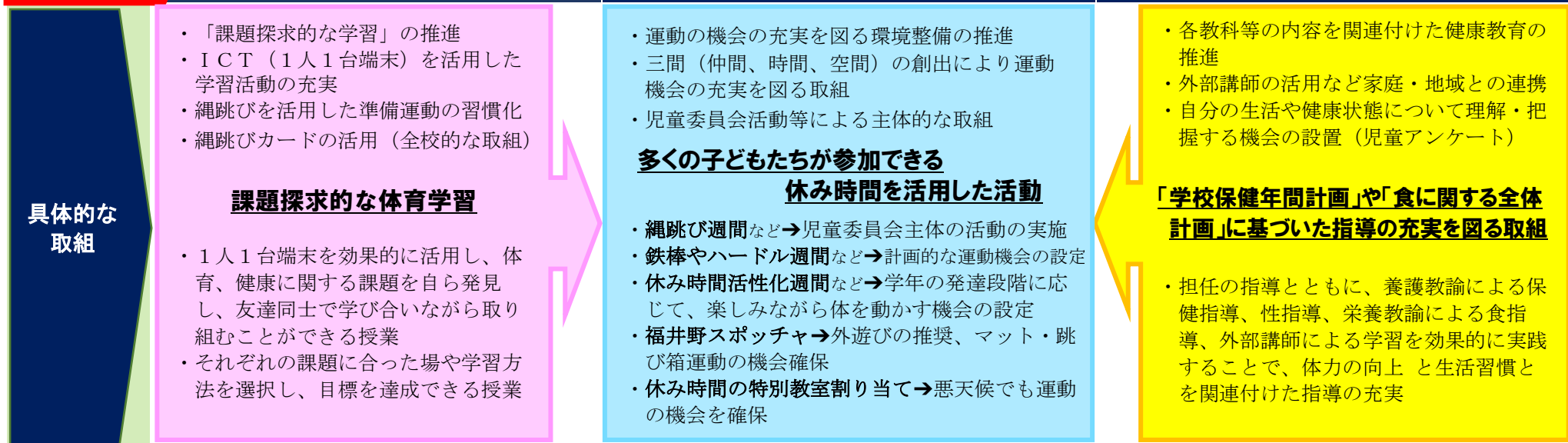
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27016

学校名：福井野小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	<p>○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている 上体起こし、ソフトボール投げ</p> <p>○全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている 握力、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び</p> <p>○全国平均より下回っている 反復横跳び</p>	<p>・総合評価は昨年よりやや下がっている。疾走能力・跳躍能力・全身持久力、特に瞬発力を高めていく必要がある。筋持久力の向上は見られるが、まずは、基礎的な運動能力向上のため、運動の機会を増やすことを心掛けていく。</p>
体力・運動能力 <女子>	<p>○全国平均より上回っている 上体起こし</p> <p>○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている 反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ</p> <p>○全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている 握力、長座体前屈、20mシャトルラン</p>	<p>・総合評価は昨年より大きく上がっており、筋持久力・瞬発力・疾走能力・跳躍能力の向上が見られたが、柔軟性の低下が見られた。短期間に向上する力ではないため、体育の授業をはじめ、日常生活の中でも、ストレッチなどの柔軟性を意識した継続的な取組を心掛けていく。</p>
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<p>○体育の授業が楽しい・やや楽しいと回答した児童の割合は95.2%（全国平均91.4%）と高い。体力・運動能力向上の目標を立てていると回答をした割合は、男子64%に対し、女子77.8%と差が見られた。</p> <p>○ICTを使った効果的な学習に関しては、肯定的な回答が35.2%（全国平均61.4%）とかなり低い。</p> <p>○保健の授業で学習した内容に気を付けて生活ができていると回答した児童の割合は73.2%（全国平均81.6%）と、学んだことを日常生活に生かそうとする意識が低い。</p>	<p>・体育の授業には楽しく取り組んでいるが、「より楽しくするには」の質問に対し「自分に合った場やルール、ペースで行うことができた」との回答が多かった。また、運動をしていない理由として、「運動する場所がない」「一緒にする友達がいない」との回答が多かった。運動する場の確保とともに、自分に合ったスポーツや運動の方法が見付けられるような取組の工夫が必要である。</p> <p>・ICTを有効活用しながら、主体的に運動に取り組めるような手立てを考える。（子どものPDCAサイクルへ）</p>

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
--------------	------------------------	------------------------------	------------------------------



家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・プロ選手を外部講師として指導をお願いする。（サッカー(フットサル)、バスケットボール、タグラグビーなど） ・地域の雪遊びイベントなどを積極的に紹介し、参加を呼び掛ける。 ・他校の実践を学ぶ研修会や、出前授業をしていただく機会を設け、指導の充実を図る。
---------------------	--